

30代で合格するために工夫したこと

●仕事・会社の選び方

アパレルや飲食業界を中心に、プロデュースやコーディネートにかかわる仕事を探した。仕事内容と給与など条件に納得できる2社のみに応募。

●応募・面接でアピールしたこと

仕事のどこに興味を感じ、自分の経験がどう活かせるかを履歴書、面接でアピール。さらに、結婚や出産後も長く働きたい意欲を伝えた。

人事担当者に聞いた！採用の理由

夢に向かって歩んできた姿勢を評価

代表取締役 川崎昌子さん

当社の「キャラリスト」採用において、年齢や販売経験は関係ありません。廣澤さんは30代からのビジョンを持った上で、退職も転職も決断してきた人。夢に向かって歩いている姿勢を評価しました。

# 30歳で転職

20代でさまざまな経験を積んだことが武器  
これからの自分や仕事に期待がふくらんでいます

なぜ転職しようと思ったの？  
20代はいろんな仕事や出会いを通して、自分の幅を広げることが目標でした。そして、夢だった海外留学でいったんリセット。30代からは、今までの経験を活かして、長く続けられる仕事をしようと思ったんです。だから、30代での転職に不安はありませんでした。むしろ、本格的にやりたい仕事をはじめる、これからへの期待のほうが大きかったですね。

転職の多さに不安は？

転職回数が多いのは、それだけいろいろな経験をしてきたということ。私にとってマイナスではないし、アピールできる部分だと思いました。だから、不安もハンデも感じませんでしたよ。むしろ、そういう私の考えを理解してくれる会社を探そうとも思っていましたから。これが最後の転職にするつもりで、会社の中身や仕事内容もしっかり調べました。

20代の経験は活かされています？

今の「キャラリスト」という仕事は、お客様の個性に合ったスーツをコーディネートするのが役割。接客はもちろん、提案力も求められるため、アパレル販売やカフェコーディネーターの経験が活かされています。企画書作成時などには、事務で身につけたパソコンスキルも役に立っていますね。20代での経験があったからこそ、今の自分がいるんだと実感しています。

カフェ プランナー

アパレル 販売



(株)エニーズ  
廣澤三友紀さん (30歳)

PROFILE **[15]** 高校1年生から、アパレル販売のアルバイトを6年間続ける。  
**[22]** 大学卒業後、金融関係の営業事務として2年勤務。**[25]** エステサロンの受付やカフェプランナーを経て、1年間の語学留学へ。**[29]** 帰国後の2005年10月、現在の会社に転職。